

Express5800/GT110d, GT110d-S, R110d-1E, E110d-1 ご使用時の注意事項

この度は、Express5800 シリーズ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、ユーザズガイドに記載されていない事項で、ご使用前にご注意していただきたいことについて記載しています。

本書の対象は、1項の“お買い求めいただいた製品のモデル名、型番”に記載された製品となりますので、ご使用前に本書の注意事項をお読みくださいますようお願い申し上げます。

また、本書は必要なときにすぐに参照できるよう大切に保管してください。

1. マニュアル記載の型番の読み替えに関して

本機に添付されているスタートアップガイドや EXPRESSBUILDER に格納されているマニュアルには、お買い求めいただいた製品の型番(例: N8100-1766Y)は記載されていません。以下の対応表を参照いただき、お買い求め頂いた製品の型番に読み替えてご使用ください。

お買い求めいただいた製品のモデル名、型番		マニュアルに記載されている型番
モデル名	型番	
Express5800/GT110d	N8100-1766Y	N8100-1767Y
	NP8100-1766YP*Y	
	N8100-1795Y	
	NP8100-1795YP*Y	
	N8100-1850Y	N8100-1768Y
	NP8100-1850YP*Y	
Express5800/GT110d-S	N8100-1796Y	N8100-1769Y
	NP8100-1796YP*Y	N8100-1770Y
	N8100-1851Y	
	NP8100-1851YP*Y	N8100-1772Y
	N8100-1852Y	
	NP8100-1852YP*Y	N8100-1771Y
	N8100-1797Y	
	NP8100-1797YP*Y	N8100-1773Y
	N8100-1853Y	
	NP8100-1853YP*Y	N8100-1774Y
	N8100-1854Y	
	NP8100-1854YP*Y	
Express5800/R110d-1E	N8100-1798	N8100-1760
	N8100-1863	N8100-1761
	N8100-1864	N8100-1762
	N8100-1799	N8100-1763
	NP8100-1799P*	
	N8100-1865	N8100-1764
	N8100-1866	N8100-1765
Express5800/E110d-1	N8100-1775Y	N8100-1776Y
	N8100-1861Y	

※:「*」は任意の英数字



2. マニュアル記載の機能仕様の読み替えに関して

お買い求め頂いた製品の機能仕様については、マニュアルに記載されている機能仕様と異なる箇所がございますので、お買い求め頂いた製品に、以下の通り読み替えてご使用ください。

(1) 搭載CPUの機能仕様

製品に搭載されるCPUの仕様については、以下の対応表を参考に読み替えてご使用ください。

また、マニュアルにはインテル®Celeron®プロセッサ G530、インテル®Pentium®プロセッサ G630 は記載されていませんが、マニュアル内の記載をお買い求め頂いた製品のプロセッサに置き換えて確認ください。

お買い求めいただいた製品のモデル名、型番		搭載 CPU	
モデル名	型番	タイプ	クロック/キャッシュ
Express5800/GT110d	N8100-1766Y	インテル®Celeron® プロセッサ G530	2.40GHz/2MB
	NP8100-1766YP*Y		
	N8100-1795Y	インテル®Pentium® プロセッサ G630	2.70GHz/3MB
	NP8100-1795YP*Y		
	N8100-1850Y	インテル®Xeon® プロセッサ E3-1220	3.10GHz/8MB
	NP8100-1850YP*Y		
Express5800/GT110d-S	N8100-1796Y	インテル®Pentium® プロセッサ G630	2.70GHz/3MB
	NP8100-1796YP*Y		
	N8100-1851Y	インテル®Xeon® プロセッサ E3-1220	3.10GHz/8MB
	NP8100-1851YP*Y		
	N8100-1852Y		
	NP8100-1852YP*Y	インテル®Pentium® プロセッサ G630	2.70GHz/3MB
	N8100-1797Y		
	NP8100-1797YP*Y	インテル® Core™ i3-2120 プロセッサ	3.30GHz / 3MB
	N8100-1853Y		
	NP8100-1853YP*Y		
	N8100-1854Y		
	NP8100-1854YP*Y		
Express5800/R110d-1E	N8100-1798	インテル®Pentium® プロセッサ G630	2.70GHz/3MB
	N8100-1863	インテル®Xeon® プロセッサ E3-1220	3.10GHz/8MB
	N8100-1864	インテル®Xeon® プロセッサ E3-1270	3.40GHz/8MB
	N8100-1799	インテル®Pentium® プロセッサ G630	2.70GHz/3MB
	NP8100-1799P*		
	N8100-1865	インテル®Xeon® プロセッサ E3-1220	3.10GHz/8MB
	N8100-1866	インテル®Xeon® プロセッサ E3-1270	3.40GHz/8MB
Express5800/E110d-1	N8100-1775Y	インテル®Celeron® プロセッサ G530	2.40GHz/2MB
	N8100-1861Y	インテル®Xeon® プロセッサ E3-1260L	2.40GHz/8MB

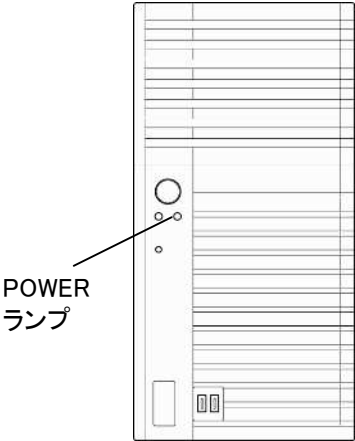
※:「*」は任意の英数字

(2)POWERランプの機能仕様

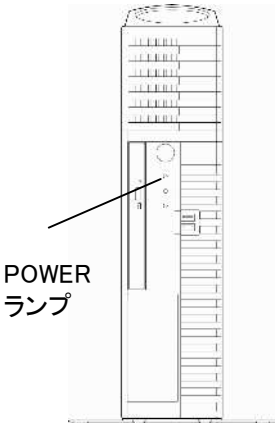
お買い求め頂いた製品のPOWERランプの機能仕様は、以下の対応表を参考に読み替えてご使用ください。

お買い求めいただいた装置の機能仕様	マニュアル記載の機能仕様
POWER ランプ(アンバー色／緑色) 電源コード接続後、装置初期化中はアンバー色に点灯する。電源をONにすると緑色に点灯する。	POWER ランプ(緑色) 電源を ON にすると緑色に点灯する。

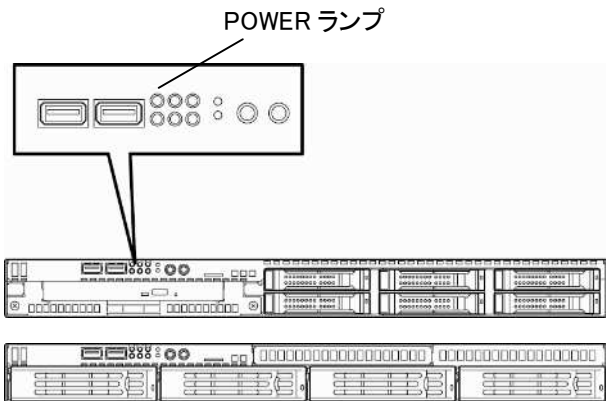
Express5800/GT110d



Express5800/GT110d-S



Express5800/R110d-1E/E110d-1





(3)トラブルシューティングの仕様

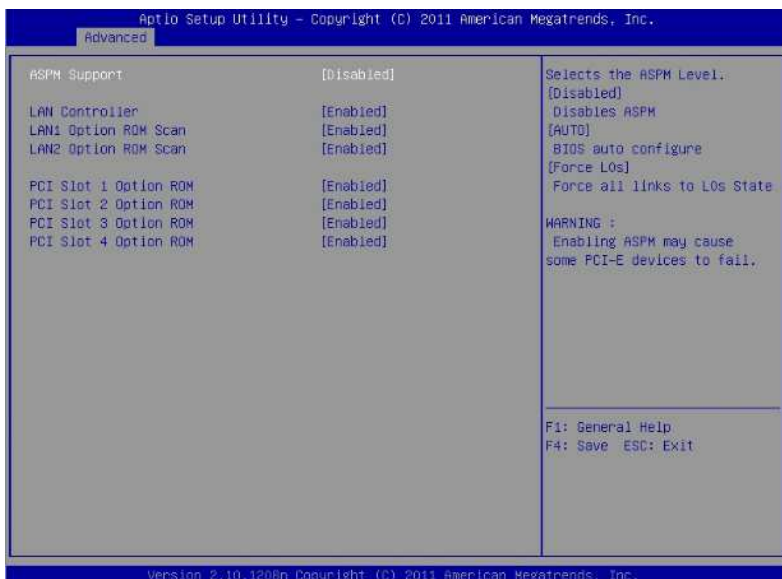
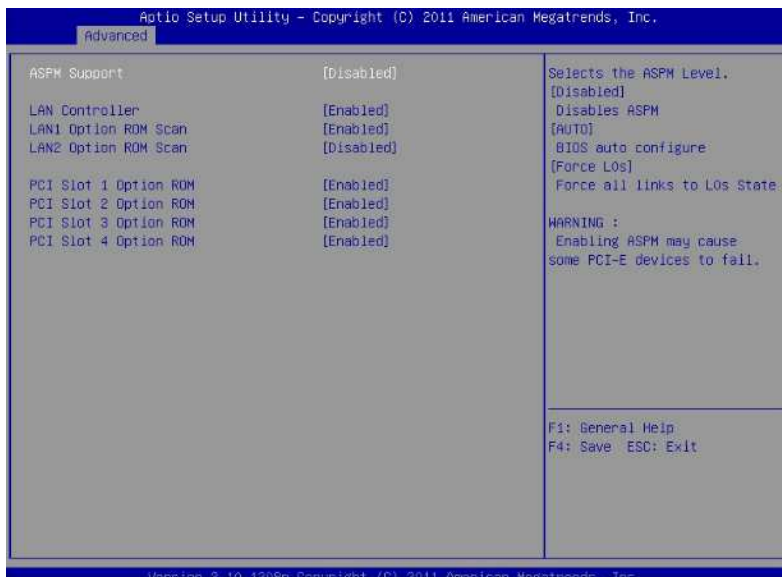
お買い求め頂いた製品のトラブルシューティング仕様については、メンテナンスガイドの記載内容と以下の箇所が異なりますので、対応表を参考に読み替えてご使用ください。

項番	変更内容
1	<p>1章保守 “5.トラブルシューティング” 5.1 電源 ON から POST 終了にかけてのトラブル</p> <p>“ [?] 電源ケーブルを接続すると、POWER ランプが点灯する” の記載内容</p> <p>マニュアルの記載)</p> <div>→ AC電源が供給された直後、POWERランプが点灯しますが故障ではありません。POWERスイッチをON/OFFすると消灯します。</div> <p>お買い求め頂いた製品)</p> <div>→ 本機は、AC電源が供給された後、装置が初期化される期間はPOWERランプがアンバーに点灯し、初期化の完了により消灯します。この動作は正常な動作であり、故障ではありません。</div>
2	<p>1章保守 “5.トラブルシューティング” 5.1 電源 ON から POST 終了にかけてのトラブル</p> <p>“ [?] 電源がONにならない □ POWER スイッチを押しましたか？” の記載内容</p> <p>マニュアルの記載)</p> <div>→ 電源コードを接続すると、管理コントローラの初期化が始まります。初期化中は、POWERスイッチを押しても電源がONにはなりません。十分時間を空けてから、POWERスイッチを押してください。</div> <p>お買い求め頂いた製品)</p> <div>→ 電源コードを接続すると、管理コントローラの初期化が始まります。装置の初期化期間中は、POWERスイッチを押しても電源がONにはなりません。初期化期間中はPOWERランプがアンバーに点灯しますので、POWERランプが消灯してから、POWERスイッチを押してください。</div>

(4) BIOS設定の機能仕様

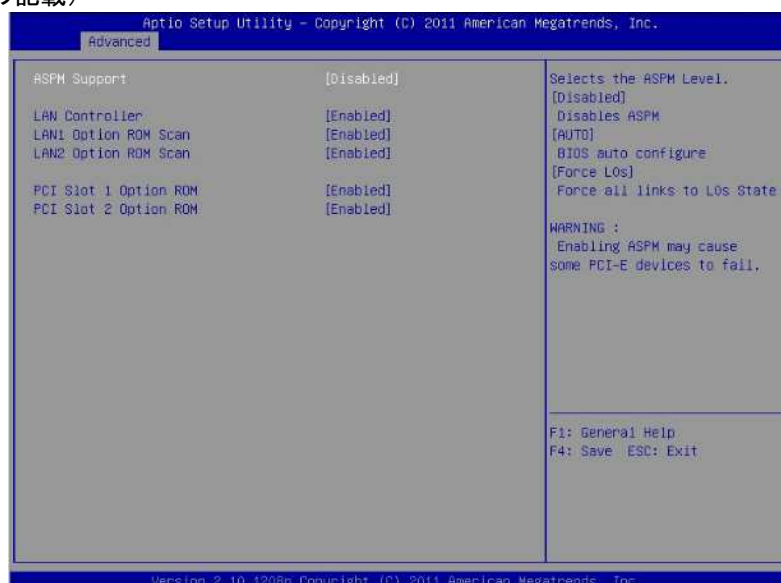
お買い求め頂いた製品のBIOS機能仕様は、メンテナンスガイドの記載内容と以下の箇所が異なりますので、対応表を参考に読み替えてご使用ください。

項番	変更内容									
1	<p>2章便利な機能 システムBIOSの詳細 “1.2 パラメータと説明”</p> <p>1.2.2 Advanced (1)Processor Configuration サブメニューの画面および機能</p> <p>マニュアルの記載)</p> <div></div> <p>お買い求め頂いた製品)</p> <div></div> <table><thead><tr><th>項 目</th><th>パラメータ</th><th>説 明</th></tr></thead><tbody><tr><td>DCU Streamer Prefetcher</td><td>[Enabled] Disabled</td><td>L1 データキャッシュのプリフェッチャの有効／無効を設定します。</td></tr><tr><td>DCU IP Prefetcher</td><td>[Enabled] Disabled</td><td>L1 キャッシュのプリフェッチャの有効／無効を設定します。有効に設定されているとき、コードがシーケンシャルに編成されている場合の処理速度が向上します。</td></tr></tbody></table> <p style="text-align: right;">[]: 出荷時の設定</p>	項 目	パラメータ	説 明	DCU Streamer Prefetcher	[Enabled] Disabled	L1 データキャッシュのプリフェッチャの有効／無効を設定します。	DCU IP Prefetcher	[Enabled] Disabled	L1 キャッシュのプリフェッチャの有効／無効を設定します。有効に設定されているとき、コードがシーケンシャルに編成されている場合の処理速度が向上します。
項 目	パラメータ	説 明								
DCU Streamer Prefetcher	[Enabled] Disabled	L1 データキャッシュのプリフェッチャの有効／無効を設定します。								
DCU IP Prefetcher	[Enabled] Disabled	L1 キャッシュのプリフェッチャの有効／無効を設定します。有効に設定されているとき、コードがシーケンシャルに編成されている場合の処理速度が向上します。								

項番	変更内容																	
2	<div>2章便利な機能 システムBIOSの詳細 “1.2 パラメータと説明”</div> <div>(3)PCI Configuration サブメニューの画面および機能</div> <div>【Express5800/GT110d/GT110d-S】</div> <div>マニュアルの記載)</div> <div></div> <table><thead><tr><th>項 目</th><th>パラメータ</th><th>説 明</th></tr></thead><tbody><tr><td>LAN1 Option ROM Scan</td><td>Disabled</td><td rowspan="2">オンボードのLAN1またはLAN2のオプションROMの展開を有効にするか無効にするか設定します。</td></tr><tr><td>LAN2 Option ROM Scan</td><td>[Enabled]</td></tr></tbody></table> <div>[]: 出荷時の設定</div> <div>お買い求め頂いた製品)</div> <div></div> <table><thead><tr><th>項 目</th><th>パラメータ</th><th>説 明</th></tr></thead><tbody><tr><td>LAN1 Option ROM Scan</td><td>Disabled [Enabled]</td><td>オンボードLAN1のオプションROMの展開を有効にするか無効にするか設定します。</td></tr><tr><td>LAN2 Option ROM Scan</td><td>[Disabled] Enabled</td><td>オンボードLAN2のオプションROMの展開を有効にするか無効にするか設定します。</td></tr></tbody></table> <div>[]: 出荷時の設定</div>	項 目	パラメータ	説 明	LAN1 Option ROM Scan	Disabled	オンボードのLAN1またはLAN2のオプションROMの展開を有効にするか無効にするか設定します。	LAN2 Option ROM Scan	[Enabled]	項 目	パラメータ	説 明	LAN1 Option ROM Scan	Disabled [Enabled]	オンボードLAN1のオプションROMの展開を有効にするか無効にするか設定します。	LAN2 Option ROM Scan	[Disabled] Enabled	オンボードLAN2のオプションROMの展開を有効にするか無効にするか設定します。
項 目	パラメータ	説 明																
LAN1 Option ROM Scan	Disabled	オンボードのLAN1またはLAN2のオプションROMの展開を有効にするか無効にするか設定します。																
LAN2 Option ROM Scan	[Enabled]																	
項 目	パラメータ	説 明																
LAN1 Option ROM Scan	Disabled [Enabled]	オンボードLAN1のオプションROMの展開を有効にするか無効にするか設定します。																
LAN2 Option ROM Scan	[Disabled] Enabled	オンボードLAN2のオプションROMの展開を有効にするか無効にするか設定します。																

【Express5800/R110d-1E/E110d-1】

マニュアルの記載)



項 目	パラメータ	説 明
LAN1 Option ROM Scan	Disabled	オンボードのLAN1またはLAN2のオプションROMの展開を有効にするか無効にするか設定します。
LAN2 Option ROM Scan	[Enabled]	

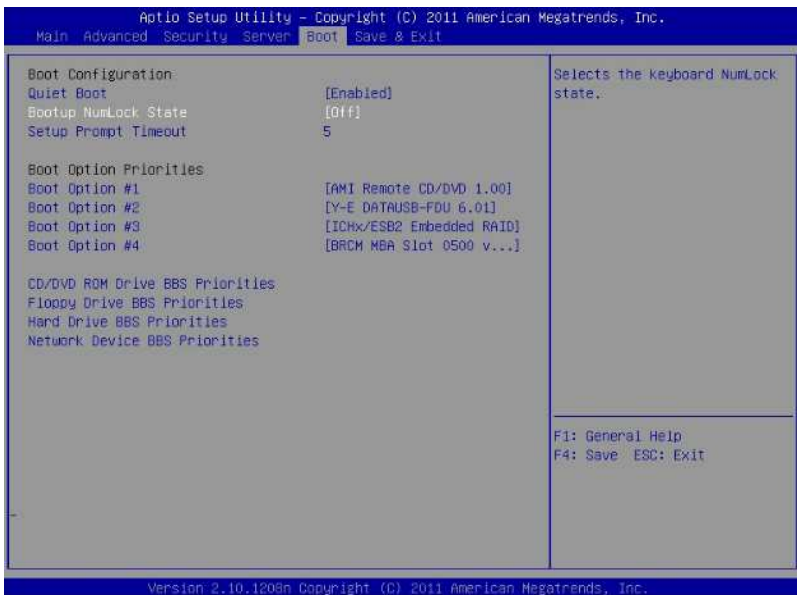

[]: 出荷時の設定

お買い求め頂いた製品)



項 目	パラメータ	説 明
LAN1 Option ROM Scan	Disabled [Enabled]	オンボードLAN1のオプションROMの展開を有効にするか無効にするか設定します。
LAN2 Option ROM Scan	[Disabled] Enabled	オンボードLAN2のオプションROMの展開を有効にするか無効にするか設定します。

[]: 出荷時の設定

項番	変更内容												
3	<div>2章便利な機能 システムBIOSの詳細 “1.2.5Boot”</div> <div>Boot メニューの画面および機能</div> <div>マニュアルの記載)</div> <div></div> <table><thead><tr><th>項 目</th><th>パラメータ</th><th>説 明</th></tr></thead><tbody><tr><td>Setup Prompt Timeout</td><td>数値</td><td>SETUP を起動するための<F2>キーの入力待ち時間を設定します。</td></tr></tbody></table> <div>[5]: 出荷時の設定</div> <div>お問い合わせ頂いた製品)</div> <div></div> <table><thead><tr><th>項 目</th><th>パラメータ</th><th>説 明</th></tr></thead><tbody><tr><td>Setup Prompt Timeout</td><td>[1] 数値</td><td>SETUP を起動するための<F2>キーの入力待ち時間を設定します。数値の単位は秒であり、POST 終了直前の待ち時間に反映されます。</td></tr></tbody></table> <div>[1]: 出荷時の設定</div>	項 目	パラメータ	説 明	Setup Prompt Timeout	数値	SETUP を起動するための<F2>キーの入力待ち時間を設定します。	項 目	パラメータ	説 明	Setup Prompt Timeout	[1] 数値	SETUP を起動するための<F2>キーの入力待ち時間を設定します。数値の単位は秒であり、POST 終了直前の待ち時間に反映されます。
項 目	パラメータ	説 明											
Setup Prompt Timeout	数値	SETUP を起動するための<F2>キーの入力待ち時間を設定します。											
項 目	パラメータ	説 明											
Setup Prompt Timeout	[1] 数値	SETUP を起動するための<F2>キーの入力待ち時間を設定します。数値の単位は秒であり、POST 終了直前の待ち時間に反映されます。											

(5)電力制御機能仕様

お買い求め頂いた製品の電力制御機能仕様は、メンテナンスガイドの記載内容と以下の箇所が異なりますので、対応表を参考に読み替えてご使用ください。

項番	変更内容
1	<p>2章便利な機能 “3.電力制御機能” の記載内容</p> <p>マニュアルの記載)</p> <div><p>Xeon プロセッサを搭載した装置では、EXPRESSSCOPE エンジン 3(BMC) のWeb コンやESMPRO/ServerManager から、本機の消費電力を制御することができます。本機能を使うことで消費電力の上限を低く抑えることができ、電力許容量が限られている環境で、より多くのサーバを実装することができます。</p><p>設定方法については、EXPRESSBUILDER に格納されている「EXPRESSSCOPE エンジン3 ユーザーズガイド」、またはESMPRO/ServerManager のオンラインヘルプを参照してください。</p></div> <p>お買い求め頂いた製品)</p> <div><p>EXPRESSSCOPE エンジン 3(BMC)のWeb コンやESMPRO/ServerManager から、本機の消費電力を制御することができます。本機能を使うことで消費電力の上限を低く抑えることができ、電力許容量が限られている環境で、より多くのサーバを実装することができます。</p><p>設定方法については、EXPRESSBUILDER に格納されている「EXPRESSSCOPE エンジン3 ユーザーズガイド」、またはESMPRO/ServerManager のオンラインヘルプを参照してください。</p></div> <p>※Xeonプロセッサ以外に、core-i3, Pentium, Celeronのプロセッサにおいても、本機能を使用することができます。</p>

項番	変更内容
2	<p>2章便利な機能 “3.電力制御機能” 3.2 Windows Server 2008 使用時の留意点 の記載 マニュアルの記載)</p> <div data-bbox="395 257 1297 456" style="border: 1px dotted black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>Windows Server 2008 で電力制御機能を利用すると、イベントビューアに次のようなイベントログが登録されます。これは、本機で電力制御しているために登録されるイベントログであり、正常な動作です。</p> </div> <p>お買い求め頂いた製品)</p> <div data-bbox="411 551 1313 748" style="border: 1px dotted black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>Windows Server 2008 で電力制御機能を利用すると、イベントビューアに次のようなイベントログが登録されることがありますが、本機で電力制御しているために登録されるイベントログであり、正常な動作です。</p> </div> <div data-bbox="311 768 1366 1464" data-label="Image"> <p>The screenshot shows the Windows Event Viewer window. The left pane shows the 'System' log selected. The right pane displays a list of events. The selected event is 'Kernel-Processor-Power' (ID 7) with a warning icon. The details pane shows the event's properties, including the source 'Kernel-Processor-Power'. A red dashed circle highlights the 'Source' field, and a red arrow points from the text below to this field.</p> </div> <p>ソース: <u>Kernel-Processor-Power</u> イベント ID: <u>7 または 37 の登録</u></p>

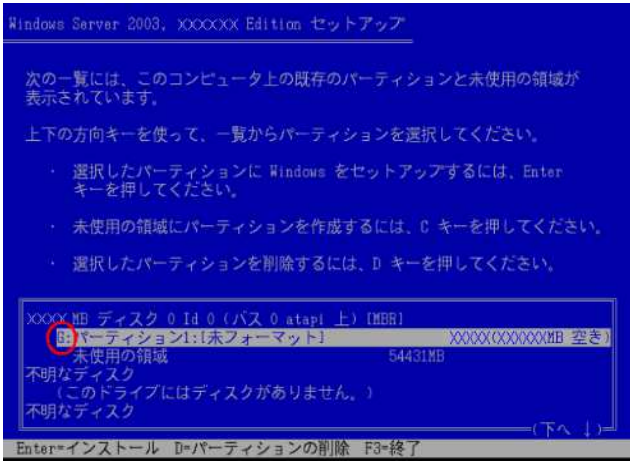
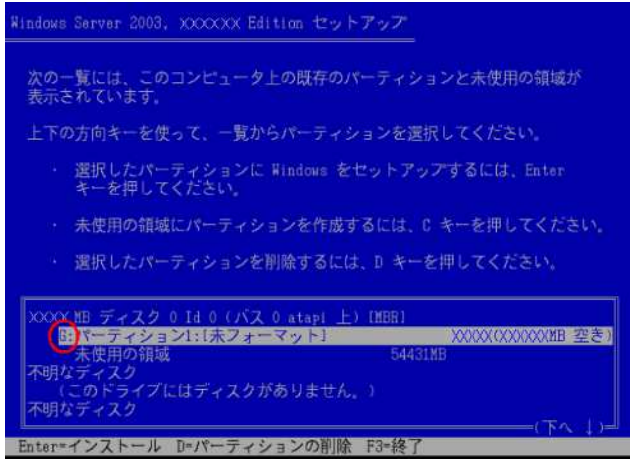
(6)コンソールレス運用記載追加

お買い求め頂いた製品のコンソールレス運用について、以下の内容がメンテナンスガイドに追加となりますので、対応表を参考に読み替えてご使用ください。

項番	変更内容
1	<p>1章保守 “9.オフラインツール” 9.3 コンソールレス</p> <p>9.3.2 運用準備 項目 記載追加</p> <p>マニュアルの記載)</p> <p>記載なし</p> <p>お買い求め頂いた製品)</p> <p>下記内容を追加</p> <div><p>9.3.2 運用準備</p><p>コンソールレス運用においては、障害発生時のハードウェアエラー情報を確認できる様に、EXPRESSSCOPEエンジン3のリモートマネージメント機能を予め準備しておいてください。</p><p>詳細は、「EXPRESSSCOPE エンジン 3 ユーザーズガイド」オンラインドキュメントを参照してください。</p></div>

(7) OSインストール(インストレーションガイド(Windows 編))の機能仕様

お買い求め頂いた製品のOSインストール機能仕様はインストレーションガイドの記載内容と以下の箇所が異なりますので、対応表を参考に読み替えてご使用ください。

項番	変更内容
1	<p>①1章Windowsのインストール “5.Windows Server 2003 R2 x64 Edition のセットアップ”</p> <p>5.2.3 セットアップの手順 (2)セットアップの実行 手順 14 の重要事項の記載</p> <p>②1章Windowsのインストール “6. Windows Server 2003 のセットアップ”</p> <p>6.2.3 セットアップの手順 (2)セットアップの実行 手順 14 の重要事項の記載</p> <p>マニュアルの記載)</p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>2. Windows をインストールするパーティションを作成します。</p> <p>新規でパーティションを作成する場合、作成したパーティションが「G:」と表示されます。</p>  </div> <p>お買い求め頂いた製品)</p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>2. Windows をインストールするパーティションを作成します。</p> <p>新規でパーティションを作成する場合、作成したパーティションが「G:」と表示されたときは、以降の操作に進んでください。</p> <p>「C:」と表示された場合は、以降の操作は不要です。</p>  </div>

項番	変更内容
2	<p>①1章Windowsのインストール “3. Windows Server 2008 R2 のセットアップ” 3.6.2LANドライバのセットアップ (2) TCP/iSCSI Offload Engine の設定(N8104-134 を使用する場合)</p> <p>②1章Windowsのインストール “4. Windows Server 2008 のセットアップ” 4.7.2LANドライバのセットアップ (2) TCP/iSCSI Offload Engine の設定(N8104-134 を使用する場合)</p> <p>③1章Windowsのインストール “5. Windows Server 2003 R2 x64 Edition のセットアップ” 5.4.2LANドライバのセットアップ (2) TCP/iSCSI Offload Engine の設定(N8104-134 を使用する場合)</p> <p>④1章Windowsのインストール “6. Windows Server 2003 のセットアップ” 6.4.2LANドライバのセットアップ (2) TCP/iSCSI Offload Engine の設定(N8104-134 を使用する場合)</p> <p>記載の変更</p> <p>マニュアルの記載)</p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>(2) TCP/iSCSI Offload Engine の設定(N8104-134 を使用する場合)</p> <p>本機にてN8104-134 を使用する場合、TCP/iSCSI Offload Engine をオフに設定しなければなりません。</p> <p>下記の手順を参考に設定を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [コントロールパネル]から[Broadcom Control Suite3]アイコンをダブルクリックします。 [Broadcom Advanced Control Suite3]が起動します。 2. [Explorer View]の[Device Management]を選択し、[System device(VBD)]内のN8104-134のネットワークアダプタを選択します。 3. [Configurations]タブを選択し、[Resource Reservations]を展開します。 4. [Pre-Allocated Resource]内の[iSCSI Offload Engine]にチェックが入っている場合はチェックを外し、[Apply]をクリックします。 5. [TCP Offload Engine]にチェックがある場合はチェックを外してください。 5. [Explorer View]の[Network Adapters(NDIS driver)]内のN8104-134のネットワークアダプタを選択します。 6. [Configurations]タブを選択し、[TCP Connection Offload(IPv4)]と[TCP Connection Offload(IPv6)]の値を[Disable]に設定し、[Apply]をクリックします。 すでに[Disable]になっている場合はそのままにします。 7. すべてのN8104-134のネットワークアダプタで手順2～6まで実施します。 8. システムを再起動します。 <p>以上で完了です。</p> </div>

お買い求め頂いた製品)

(2) N8104-134 を使用する場合の注意事項

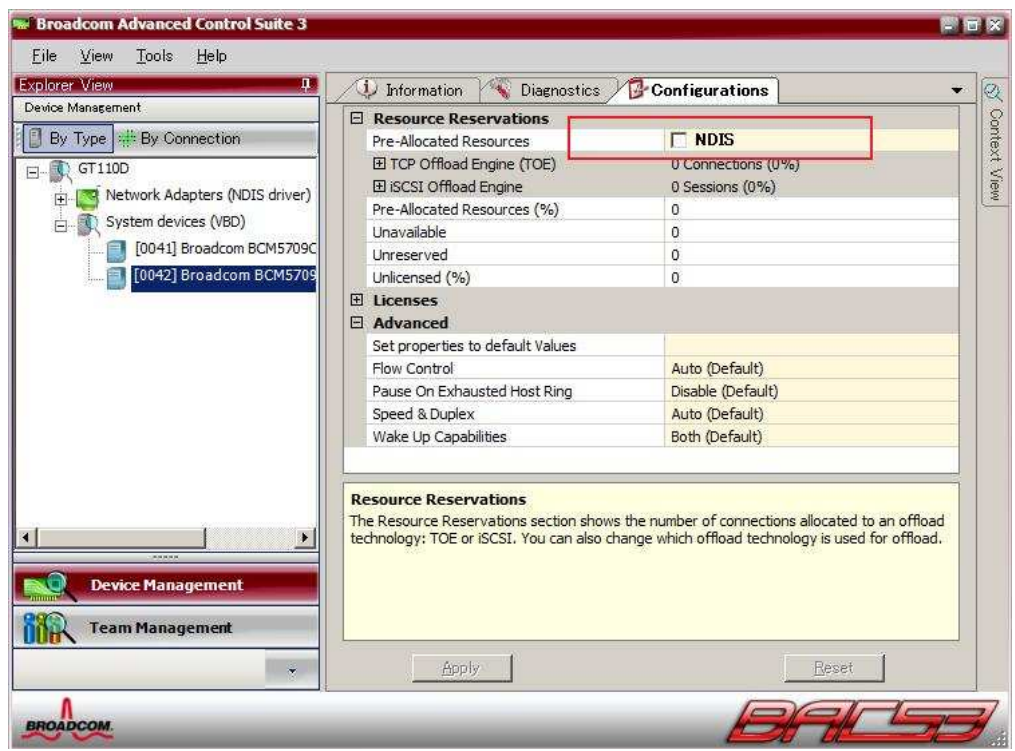
本機にてN8104-134 を使用する場合、TCP/iSCSI Offload Engineには対応していないため、同機能に関する設定項目は表示されません。従って、

(2) TCP/iSCSI Offload Engine の設定(N8104-134 を使用する場合)

に記載されている設定は行う必要はありません。

また、Broadcom Advanced Control Suite3の設定画面は以下となります。

[Resource Reservations]の[Pre-Allocated Resource]にあるNDISには、チェックしないでください(初期設定から変更しないでください)。



(8) インタフェースケーブルの仕様

お買い求め頂いた製品のインタフェースケーブル仕様はユーザーズガイドの記載内容と以下の箇所が異なりますので、対応表を参考に読み替えてご使用ください。

項番	変更内容
1	<p>Express5800/GT110d</p> <p>2章 準備 “1.15 ケーブル接続” 1.15.1 インタフェースケーブル</p> <p>(c) USB デバイス(内部接続用)を搭載する場合</p> <p>マニュアルの記載)</p> <div>接続に使用するUSB ケーブルはK410-210(00)内蔵USB ケーブルを使用します。</div> <p>お買い求め頂いた製品)</p> <div>接続に使用するUSB ケーブルはK410-254(00)内蔵USB ケーブルを使用します。</div>
2	<p>Express5800/GT110d</p> <p>2章 準備 “1.15 ケーブル接続” 1.15.1 インタフェースケーブル</p> <p>マニュアルの記載)</p> <div>(d) USB デバイス(内部接続用)を搭載し、フロントUSB コネクタを使用する場合</div> <p>お買い求め頂いた製品)</p> <div>(d) USB デバイス(内部接続用)を搭載し、かつN8115-05EXPRESSBUILDER 組込キットを使用する場合</div>

3. Red Hat Enterprise Linux 6 Server のご使用について

Red Hat Enterprise Linux 6 Server にて、特定の条件を満たすファイルに対して、範囲外のオフセットを指定して書き込みを行うとシステムがパニックする問題があります。

本問題はkernel-2.6.32-131.12.1.el6において修正されていますので、カーネルをkernel-2.6.32-131.12.1.el6以降にアップデートしてください。

また、Linux サービスセットをご購入のお客様は、詳細をNEC サポートポータルに公開しておりますので、「[RHEL6]注意・制限事項」の「ID:06144」をご確認ください。

4. 仮想リムーバブルドライブの表示について

(N8115-04 リモートマネジメント拡張ライセンス登録時)

オプションの N8115-04 リモートマネジメント拡張ライセンスを本機に登録すると、実装しているドライブの他に複数のリムーバブルドライブがオペレーティングシステム上に表示されます。これらのリムーバブルドライブは、EXPRESSSCOPE エンジン 3 のリモートメディア機能(*1)のために予約されている仮想ドライブであり、正常な動作です。

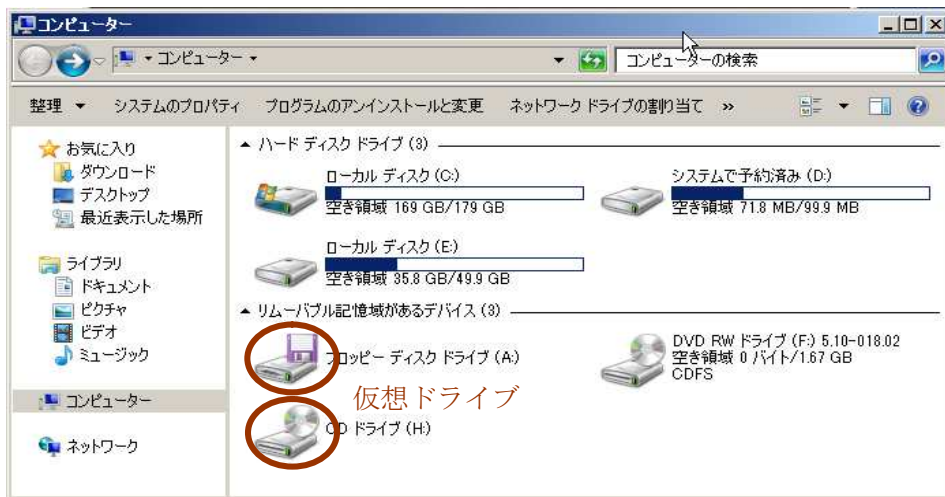


図 1. Windows Server 2008 R2 コンピューターフォルダー 表示例(*2)

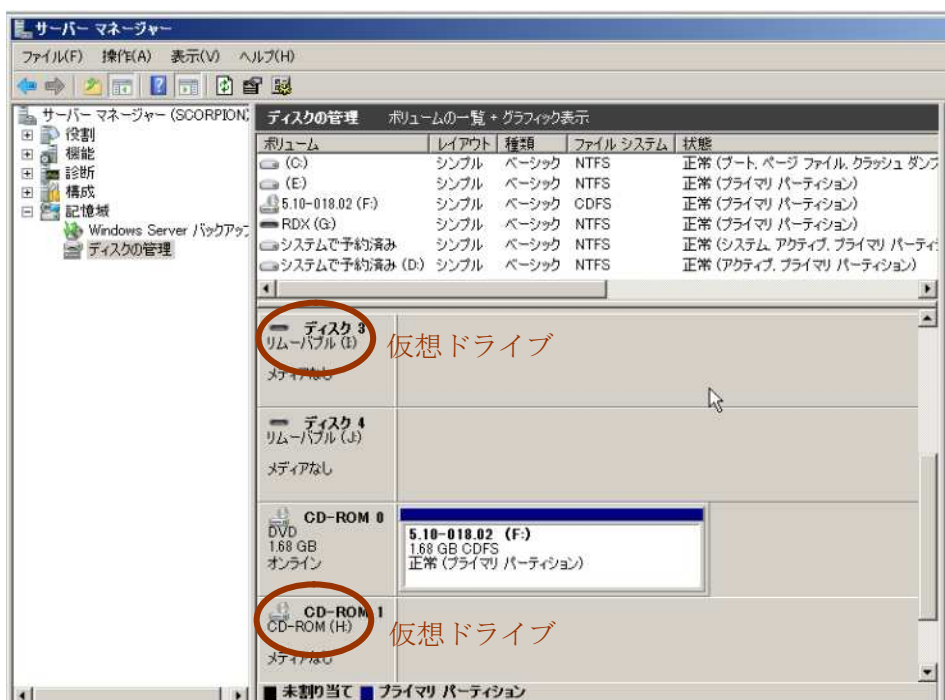


図 2. Windows Server 2008 R2 サーバーマネージャー 表示例(*2)

*1：遠隔の管理 PC に接続した FD/CD/DVD ドライブ、ISO イメージおよびフラッシュメモリを、対象サーバに接続されているドライブとして使用することができる機能。

詳細は、本機添付の「EXPRESSSCOPE エンジン 3 ユーザーズガイド」を参照ください。

*2：ドライブ数およびドライブ文字はシステム構成により異なります。

~ MEMO ~

■ 本件に関するお問い合わせについて

本書の内容にご不明点等ございましたら、下記ファーストコンタクトセンターまでお問い合わせください。

お問い合わせ先：ファーストコンタクトセンター

TEL : 03-3455-5800

受付時間 : 9:00～12:00 13:00～17:00 月曜日～金曜日（祝日を除く）

※ 番号をお間違えにならないようお確かめのうえお問い合わせください。

